

もしもの時の救急医療を考えましょう



◆9月6日は
「救急の日」

救急医療と救急業務に対する正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識を高めるため、9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間(今年9月6日(日)～12日(土))を救急医療週間としています。

これをきっかけに、救急医療や119番通報などの緊急時の対応を考えてみましょう。

◆救急車を上手に使いましょ

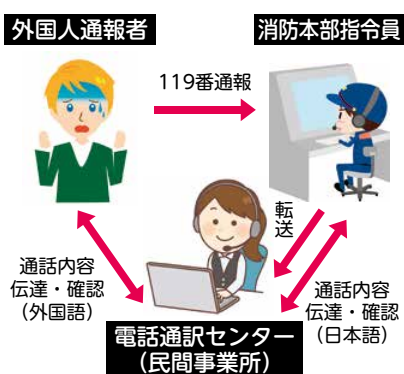
近年、全国的に救急車の出動件数・搬送人員は増え、救急隊の現場までの到着時間が遅くなっています。また救急搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあり、救急車を適切に利用していく必要があります。

しかし、軽傷のように見えても重大な病気やけがの可能性もあるため、救急車を呼ぶかどうか迷ったときは下の表を参考にしてください。

◆三者間同時通訳を開始しました

9月1日から、外国語での119番通報に円滑に対応できるよう、電話通訳センターを介して、英語や中国語など、19言語に24時間対応できる三者間同時通訳を始めました。

119番通報時



これらの症状のときはためらわずに救急車を呼んでください

	大人	小児 (15歳未満)
頭	<ul style="list-style-type: none"> 突然の激しい頭痛や高熱 支えなしで立てないくらいふらつく 	<ul style="list-style-type: none"> 頭を強くぶつけて出血が止まらない、意識がない、けいれんがある。
顔	<ul style="list-style-type: none"> 顔半分が動きにくい 口や顔の片方がゆがむ ろれつがまわりにくい ものが突然二重に見える 	<ul style="list-style-type: none"> くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
胸や背中	<ul style="list-style-type: none"> 突然の胸痛 急な息切れ、呼吸困難 痛む場所が移動する 	<ul style="list-style-type: none"> 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い
腹	<ul style="list-style-type: none"> 激しい腹痛 吐血や下血がある 	<ul style="list-style-type: none"> 激しい下痢や嘔吐<small>おうと</small>で水分が取れず、食欲がなく、意識がはっきりしない 激しいおなかの痛みで苦しがり嘔吐がとまらない
手足	<ul style="list-style-type: none"> 突然のしびれ 突然片方の腕や足に力が入らなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 手足が硬直している
意識障害	<ul style="list-style-type: none"> 返事がない、またはもうろうとしている 	
けいれん	<ul style="list-style-type: none"> けいれんが止まらない、止まっても意識が戻らない 	



◆電話相談窓口をご利用ください

○伊賀市救急・健康相談ダイヤル24

☎0120・4199・22

(24時間年中無休)

救急車を呼ぶかどうか迷っているときの相談をはじめ、心と体のさまざまな相談に看護師などが応じます。

○みえ子ども医療ダイヤル

☎#8000

(毎日午後7時30分～翌朝8時)

子どもの急な病気や事故、薬について相談に応じます。

※ダイヤル式・光電話・IP電話などの場合、

☎059・232・9955

○救急医療情報センター

コールセンター

☎059・229・1199

(24時間年中無休)

救急車を呼ぶほどでもないが、けがや急病でどうしてもすぐに診察を受けたい場合に、受診可能な医療機関を案内します。

※案内を受けた医療機関に必ず電話をしてから受診してください。

※コールセンターに電話がつながりにくい場合、医療ネットみえをご利用ください。

・医療ネットみえ

<http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>



◆AEDはためらわずに活用しましょう

心臓が突然止まる原因のひとつは、心臓の筋肉が細かく震える「心室細動」です。

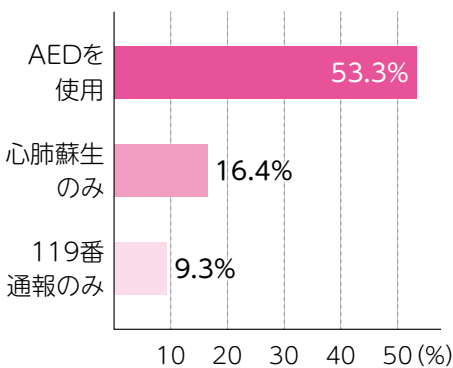
この場合、心臓に電気ショックを与え、心臓の震えを取り除くことが必要です。

AED（自動体外式除細動器）は、この電気ショックを行う機器です。平成16年に一般市民にAEDの使用が認められ、心肺蘇生を受ける人やAEDで電気ショックを受ける人の数は年々増加しています。

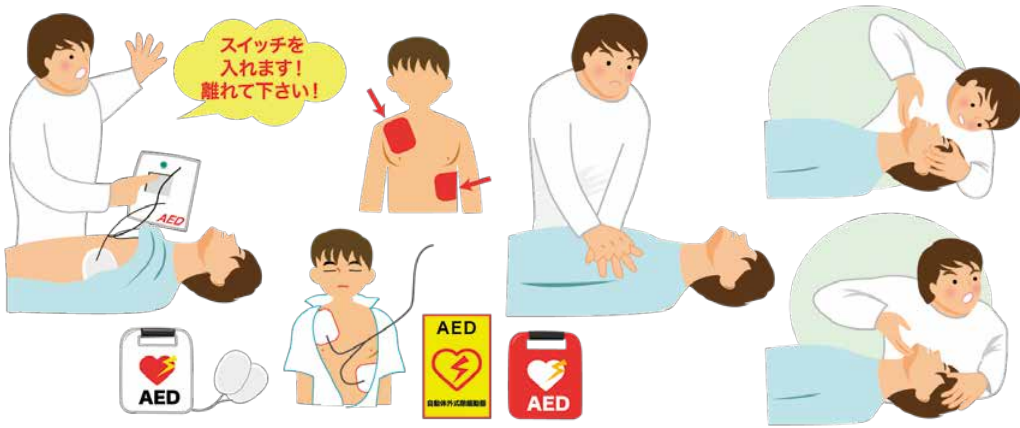
AEDを正しく使用した場合、1カ月後の生存率は53・3%（心肺蘇生のみでは16・4%）で、これは19番通報のみを行った場合の9・3%と比べると約5・7倍です。

ところが、心停止を目撃された人のうち、実際にAEDが使用されるのは全体の4・7%に留まっています。

1カ月後の生存率



その場にいるあなたに知識がなければ、AEDが近くにあっても活用することはできません。命を救う場面に遭遇したとき、あなたはためらわずに行動を起こすことができますか。その時に備えて、あなたにもできる救急救命を学びましょう。(参考)平成30年消防白書



◆応急手当講習会でAEDの使い方を学びましょう

AEDの取り扱い方法について、応急手当講習会を行っています。

PTAや各種団体などで、希望がありましたら、伊賀消防署管理課までお問い合わせください。



◆AEDの設置場所

9月末現在、市内327カ所にAEDを設置しています。

設置場所は市ホームページで掲載しています。

AEDを設置している事業所などで、市ホームページへの掲載にご協力いただける場合はご連絡ください。

【問い合わせ】

○伊賀消防署管理課

☎24・9120 FAX24・9111

○医療福祉政策課

☎22・9705 FAX22・9673

